



平成 30 年 3 月 23 日
沖縄電力株式会社

石炭専用船 2 代目「津梁丸」の運用開始について

当社は具志川火力発電所（沖縄県うるま市）および金武火力発電所（沖縄県国頭郡金武町）で使用する石炭の輸送体制強化のため、大型石炭専用船「津梁丸」^(※1)（9 万トン級）を運用開始いたしました。

本船は、株式会社大島造船所（長崎県西海市大島町）にて建造し、去る 3 月 9 日に竣工式を行い、オーストラリアへ向けて航海を開始しました。なお、本船は日本郵船株式会社（東京都千代田区）によって運航されます。

当社では、2003 年に初代石炭専用船「津梁丸」（9 万トン級）を導入し、これまで 15 年間にわたり、石炭の安定輸送を実現してまいりました。2 代目となる本船は、初代より船名「津梁丸」を受け継いで、当社の石炭輸送体制の中核を担うこととなります。

なお、本船は一般的なパナマックス船型と比べて積載量を増加させ、輸送効率を向上させた最新鋭の「幅広・浅喫水船」^(※2)です。

今後もオーストラリア、インドネシアなどの石炭産出国から、安定的かつ経済的な石炭輸送に努め、当社の使命である電力の安定供給に繋げてまいります。

（※1）船名「津梁丸」の由来は、首里城正殿に掲げられていた「万国津梁の鐘」の銘文から引用したもので、文字通り沖縄と環太平洋の産炭国を繋ぐエネルギーの橋渡しを担うことへの願いが込められています。

（※2）水深制限のある港への大量輸送を行なうため、通常の 7 万トン積パナマックス型ばら積み船より幅を広げた喫水の浅い船型。

<本船概要>

1. 全 長：234.99 メートル
2. 全 幅：43.00 メートル
3. 夏期 満載 喫水：12.882 メートル
4. 載貨重量トン数：92,049 トン

<2 代目 津梁丸>



以上